

横浜みなと博物館 について

横浜みなと博物館は、平成 21 年 4 月 24 日に装いも新たにオープンします。
前身の横浜マリタイムミュージアムは、平成元年の開館以来 20 年間、たくさんのお客様をお迎えしてきましたが、開港 150 周年を機に、「横浜港を知り、考え、楽しむことのできる市民のための博物館」として生まれ変わります。

○オープンまでの経緯

- 平成 18 年度 基本構想・基本計画の策定
- 平成 19 年度 設計
- 平成 20 年度 展示制作等の契約、工事完了
- 平成 21 年度 リニューアルオープン



シンボルマーク

1 リニューアルの概要

(1) 「横浜みなと博物館」への名称変更

横浜港をテーマとした博物館であることが容易にわかり、親しみを感じていただけるよう「横浜みなと博物館」に変更

(2) 展示

「歴史と暮らしのなかの横浜港」をメインテーマに、「横浜港の歴史」、「横浜港の再発見」の 2 つのゾーンで構成

ア 「横浜港の歴史」ゾーン

横浜開港以来 150 年の歴史を紹介

イ 「横浜港の再発見」ゾーン

築港や港運、暮らし・環境などを 6 つの切り口で横浜港の機能と取組を紹介

(3) わかりやすい案内サイン等の設置

ア 桜木町駅側、ランドマーク側、みなとみらい駅側、それぞれのパーク入口にコンテナをモチーフとした案内サインを設置

イ 博物館入口にも案内サインと同じデザインの大型ゲートを設置

(4) どなたにも利用しやすい施設へ改修

ア 総合案内やレストルーム（授乳室、休養室）、カフェ・ショップ、キッズスペース等を設置

イ 障害者や高齢者の方々などが利用しやすいよう、スロープや多目的トイレなどバリアフリー化

2 主な展示

(1) スクリューパイルの実物展示

大さん橋の前身である鉄さん橋を支えていた螺旋状の杭、いわゆるスクリューパイルの実物を展示しています。

1894（明治27）年竣工時から使用されていた杭で、1989（平成元）年に着手した大さん橋ふ頭の再整備時に海底から引き抜いたものです。



(2) 操船シミュレーター

横浜港を精巧に再現した映像の中で、横浜市の海事広報艇「はまどり」などを操縦することができます。

船員の育成などに使われているシミュレーターを、一般の方にも楽しんでいただけるよう博物館仕様にしています。



(3) 大型マルチタッチ映像

画面に触れることにより、港で働いている船や人など、港のしくみや仕事が楽しく学べます。

お客様が自ら参加しながら港のことを知ることができます。クイズ形式になっているので、小さいお子様も楽しく学ぶことができます。



日本丸メモリアルパークリニューアルオープン記念式典

(1) 日時

平成21年4月24日（金）午前10:30～11:10

(2) 場所

日本丸メモリアルパーク アリーナ

（雨天時 「横浜みなと博物館」特別展示室）